

いつも、インシデント報告ありがとうございます

2019.04.17

京大病院医療安全情報110

【個人情報取り扱い-第3報-】

～紹介状返書を誤郵送した事例～

2017年に他患者の書類が混入していることに気づかずに郵送する事例が散見し、書類を事務員へ渡す際は1患者ずつクリアファイルに入れることを提案しました。その後も類似事例が発生していますので、再度通知します。

京大病院医療安全情報95・101をご参照ください。



事例 紹介状返書の誤郵送

医師が患者3名分の紹介状返書を作成した。作成した5通の文書を1枚のクリアファイルに入れて、病棟事務の机に置き、郵送を依頼した。事務員は恐らく患者氏名や宛先を確認しないまま、1つの封筒に入れて誤郵送したと考えられる。送付先の医療機関より連絡があり、誤郵送が発覚した。

複数患者の書類作成等をまとめて行った場合、印刷物が混在する可能性があります。

同意書の渡し間違い（印字氏名と署名の不一致）も含めて、インシデント報告が続いています。

インシデント報告に基づいた対策です

京大病院医療安全情報110

事務に書類を依頼する時は、 【1患者ずつクリアファイルに入れる】



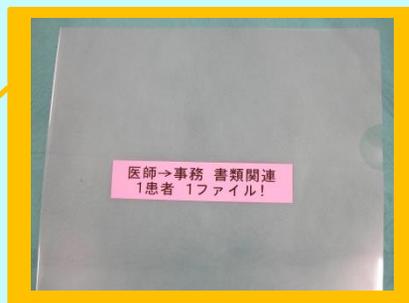
事務の机の上に書類を重ねて置いていませんか？
ひと工夫でリスクを低減できます！
1患者ずつクリアファイルに入れて
所定の提出場所に置きましょう

5Sは
病院業務のリスク低減と
作業効率向上のために
大きな効果があります



A病棟での取り組みを紹介します

所定の提出場所近くにクリアファイルを設置



**書類提出用のクリアファイルを
全病棟に配布していますので、
活用してください！**

(ファイルが不足している場合は医療安全管理室にご連絡下さい)